

まくせのやしろ  
万九千社  
たちむしじんじや  
立虫神社  
社報



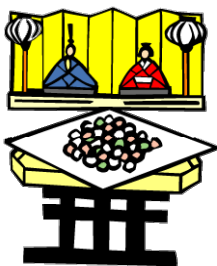
# 神戸の郷

第五七号 平成二十九年春

〔発行〕二月吉日

代宮家 (錦田)

うららかな春の陽射しを浴びて、いのち芽吹く季節となりました。その命の力、自然の営みにあやかり、神社におきまして、春のお祭りを御奉仕します。



今季の祭

三月二十七日

(月曜日)

## 一、勸学祭

午後一時より、神社にて齋行

## 祝！小学校御入学 中学校御卒業

この春、晴れて小学校入学の歳と中学校卒業の歳を迎えた子供達が、氏神様にそろって参拝します。

神前に、入学、卒業の時を迎えたことを奉告、感謝し、これから先の心と体の健やかな成長、勉学の成就をお祈りするものです。

希望に満ちた輝く眼の子供達とそれを見守る家族のやさしい眼差し、

微笑みが  
目に浮か  
びます。



※御参拝の方は、十二時五十分までに拝殿へ御参集下さい。  
制服、スーツなど神前で礼を失さない服装でお参り下さい。

家族のあふれる愛情を受け、育ていく子供達。

かつて、子育ては、家族だけではなく、近所のこわいおじさんや、やさしいおばさんも、お兄さんもお姉さんも、みんなが、その躰役でした。

多感な子供達と、地域の大人が何気なく声を掛け合う、挨拶を交わし

合う。現代の大人が忘れそうなどても大事な事ではないでしょうか。

少年少女をめぐる殺伐とした事件や問題が続発する今こそ、地域あげて、私たちの宝、未来を担う彼ら彼女らの健やかな歩みを見守っていきましよう。

きつと勸学祭には、氏子(地域)みんなで、子供達の成長を支えていこうと神々に誓う意味も込められているのではないのでしょうか。

どうか、この子供達の未来が、心豊かな日々でありますように...



## 一、祈年祭きねんさい(としごひのまつり)

午後三時より神社にて齋行

春祭りの中心となる祭典です。

宮司以下の神職が、古式にのっとった装束を身に付けて、厳かに御奉仕します。御神前に山のようにたくさんのお供え物をして氏神様をおもてなしし、宮司が祝詞を奏上します。

祝詞では、今年一年が良い年でありますようにと、稲をはじめとする五穀の豊穰とその豊かな稔りに支えられた工業、商業など諸産業の繁栄、人々の幸と平安を感謝しつつ御祈念します。

当日は、氏子を代表して、総代の皆様に昇殿してもらい、まごころ込めて玉串拝礼していただきます。

### ※氏子さ

んの各家に、春祭りのお札と御洗米を授与します。**当番の方は、午前**



**八時から午後一時までのお参りのうへお供え下さい。** よろしくお願いいたします

## 【お知らせ】

昨年およそ六十年ぶりに復活した万九千社春祭りを今年も左記により齋行します。

「大なほらひ」の詳細は、おって案内チラシ、新聞広告などでお知らせします。

御家族皆様のお参りをお待ち申し上げます。

記

四月二十六日(水)午後三時

万九千社春祭り 祭典

神職、総代らにより厳かな祭儀が行われます。

五月六日(土) 終日

万九千社春祭り奉祝祭

「大なほらひ」

今年も御殿では出雲神楽が奉納され、境内には出雲の地酒四蔵の新酒、

海川山野の美食の屋台が並びます。  
どうぞお楽しみに…。

(文責 宮司)